

第2回一般国道2号岩国・大竹道路トンネル技術検討委員会 《議事録》

1. 日時：令和5年2月24日(金)13:45～15:45
2. 場所：山口河川国道事務所 第1会議室
3. 出席者＜委員＞

氏名	所属
かなおり ゆうじ 金折 裕司	山口大学大学院 理工学研究科 元教授
くさか あつし 日下 敦	国立研究開発法人 土木研究所 道路技術研究グループ 上席研究員
しんじ まさと ◎進士 正人	山口大学 理事・副学長
にしがき まこと 西垣 誠	岡山大学 名誉教授
ましも ひでと 真下 英人	一般社団法人日本建設機械施工協会 施工技術総合研究所 所長

◎:委員長

4. 配布資料

- ・議事次第、配席表、委員会規約(変更)
- ・資料-1 第2回委員会での検討事項
- ・資料-2 地質・岩級区分の設定、地質縦横断面図
- ・資料-3 追加調査について(盛土断面の追加箇所の調査提案)
- ・資料-4 地下水位の継続観測結果の報告について
- ・資料-5 まとめ
- ・参考資料

5. 議題

- ・地質・岩級区分の設定、地質縦横断面図、追加調査について
- ・地下水位の継続観測結果の報告について

6. 議事概要

(1)地質・岩級区分の設定

- 地質・岩級区分の設定について、以下のことを確認した。
 - ・風化変質の程度等に着目して設定した岩級区分で妥当である。

(2)地質縦横断面図

- 地質縦横断面図について、以下のことを確認した。
 - ・地質縦断面図、切土横断、盛土横断①の地層線について妥当である。
- 地質縦横断面図について、以下の指摘を受けた。
 - ・地質横断面図のうち情報が不足する盛土横断②は、追加調査で地質を確認し、地層線を決定すること。

(3) 追加調査

○追加調査について、以下のことを確認した。

- ・追加調査の提案内容について妥当である。
- ・追加ラムサウンディング箇所の水位観測について検討すること。

○追加調査について、以下の指摘を受けた。

- ・新たな調査データも含めて盛土・崖錐堆積物の土質性状について把握に努めること。
- ・盛土内の水位は何層もある可能性があるため、ボーリング調査時のデータを整理すること。

(4) 地下水位の継続観測結果の報告

○地下水位の継続観測において、以下のことを確認した。

- ・現在の地下水状況に関して了解した。

○地下水位の継続観測において、以下の指摘を受けた。

- ・新たな観測データも含めて盛土内の地下水位について状況把握に努めること。

(5) 第3回以降検討事項

○第3回以降検討委員会の検討事項は、下記とすることを確認した。

- ・室内試験（岩石・土質試験）結果について
- ・地盤定数の設定について
- ・地下水の定常水位の考え方について
- ・地表面沈下の解析手法について
- ・トンネル本体構造・対策工法について
- ・トンネル掘削方式について

(6) その他

○その他事項として、以下の指摘を受けた。

- ・トンネル掘削断面は、堅硬な花崗岩に位置するため、周辺への影響も考慮した掘削方法や不確定部分の補助工法の検討を行う必要がある。

以上